

1 高知・ビキニ被災船員救済検討チームが発足

1月11日午後、高知市内に第二幸成丸元船員桑野浩氏ほか被災船員遺族関係者と支援者らが集まり、高知県内のビキニ被災元船員の救済検討チームの発足を確認しました。ここには高知訪問中の検証会の間間共同代表も参加し、参加者全員で船員保険労災申請の意義を確認しました。

会場にはマスコミ関係者も多数詰め掛け、翌12日の高知新聞や毎日新聞朝刊の一面で大きく取り上げられました。

2 間間、和田両共同代表、4日間高知県内を駆け巡る

1月10日午前に静岡から高知入りした間間元共同代表と、現地の和田忠明共同代表が4日をかけて室戸市から高知市、土佐清水市まで駆け巡り、元船員の聞き取りや遺族、家族との懇談、県への要請活動に臨みました。

10日午後、室戸遠洋漁船船員組合事務所をお借りして、第七大丸の元船員や家族、遺族、元第二幸成丸船員らと懇談しました。ここで間間共同代表から船員保険労災の説明、申請の意義、第五福竜丸元乗組員の船員保険復活やその後の遺族給付がなされた経過などが報告されました。この会にはご協力いただいた室戸船員組合の山本成男組合長や吉良富彦高知県議も参加されました。

11日午前には検証会の山下正寿事務局長も合流し、梶原守光弁護士も参加して第二幸成丸元船員桑野氏、第七大丸の元船員のご遺族の聞き取りを行いました。

午後には救済検討チームの発足会合に参加した後、黒潮町で第五明賀丸元船員のご家族と懇談、12日には土佐清水で第十三光栄丸の二人の元船員、第八順光丸元船員、足摺では第11高知丸の元船員のご遺族の聞き取りを行いました。

13日午前、間間、和田共同代表は高知県庁を訪れ、県健康政策部健康対策課の福永一郎課長と面会し、ビキニ被災元船員の置かれてきた状況への理解と協力を要請しました。福永課長は、県として深い関心を持っている事、来年度も県主催での健康相談会を予算化していることなど、積極的な取り組みをしていきたいと表明しました。

3 被災船員、遺族ら船員労災の申請への準備始まる

今回の取り組みを通じて、元船員や家族、遺族の中から、船員労災申請への準備を進める動きが出てきています。現地では和田共同代表や山下事務局長ら支援者の協力活動を強め、県健康対策課の協力も得ながら元船員への支援を具体化するための活動が始まっています。今後、この動きを全国に広め、ビキニ被災船員の救済へつなげていく運動の構築が急がれています。

第3回ビキニ被災検証会のご案内

2016年3・1ビキニデー集会にあわせ、下記の日程と内容で第3回ビキニ被災検証会を静岡市で開催します。関係者の皆様の参加をお待ちします。

日時；2月28日（日）午後2時～5時

会場；静岡駅南口 静岡交通ビル（出てすぐ左角の小ビル）3F 国労会館会議室

内容；報告1 第五福竜丸等焼津港の被災漁船について

静岡県平和運動研究者、元焼津市史編集委員 枝村三郎氏

報告2 岩手県のビキニ被災船調査― 吉田栄一氏

報告3 中央水産研究所「ビキニ」開示資料分析― 第五福竜丸展示館

後半で**全国ビキニ被災船員救済検討チーム結成会**

挨拶 和田忠明氏

報告と問題提起 聞間元氏・山下正寿氏・申請者代表ほか

- ・ビキニ被災元船員・遺族の船員労災申請運動について
- ・今後の支援のよびかけと全国展開、厚労省への要請など

◎討議終了後、夕食懇親会を予定します。懇親会への申し込みは静岡ビキニ研・小峯まで申し込みください（連絡先 090-8073-0635）会費は5000円程度

◎ 翌29日（月）午前9時出発で清水の国際水産資源研究所（旧遠洋水研）を希望者で訪問し、ビキニ事件当時の「全国マグロ船操業記録」資料を閲覧する予定です。

☆関連企画のお知らせ☆

第18回ビキニ被災の全容解明をめざす全国交流集会

日時；2月29日（月）19:00～20:45（原水協集会分科会終了後）

会場；東静岡駅前グランシップ 10階 1001 会議室 資料代 500円

講演；ビキニ事件と日本経済社会の再編―再軍備・平和発展の交錯と財界―

講師；静岡大学名誉教授 山本 義彦氏

共催；ビキニ水爆被災事件静岡県調査研究会、3.1ビキニデー静岡県実行委員会